

七十七の地域貢献

(平成17年3月期)

株式会社七十七銀行

目次

1. 地域貢献に関する考え方・・・・・・・・ 1
2. 地域への信用供与の状況・・・・・・・・ 2
 - (1) 貸出業務全般
 - (2) 中小企業向け貸出業務
 - (3) 個人向け貸出業務
3. 地域のお客さまへの
利便性提供の状況・・・・・・・・10
 - (1) 店舗網等各種チャネルの整備
 - (2) 預金業務等
 - (3) 決済サービス
 - (4) その他のサービス
4. 地域経済活性化への取組状況・・・・・・・・20
 - (1) 地元企業のサポート
 - (2) 企業の育成への取組み
 - (3) 地方公共団体の事業との関係
5. 地域社会への各種支援活動の状況・・25

発行：株式会社七十七銀行 総合企画部 広報・関連事業課
〒980-8777 仙台市青葉区中央三丁目3番20号
Tel 022-267-1111(代)
ホームページアドレス <http://www.77bank.co.jp>

1. 地域貢献に関する考え方

七十七銀行は、宮城県のリーディングバンクとして、明治11年の創業以来永きにわたり地域の皆さまとともに歩んでまいりました。昭和36年に経営の基本理念として制定し、現在も行動の規範として役職員に浸透している「行是」では、「自己の利益と公共の利益との調和をはかりながら、地域社会に貢献する」旨を謳っており、また「奉仕の精神の高揚」を第一に掲げて、地域社会の繁栄のために奉仕する姿勢を説いております。

行 是

銀行の使命は、信用秩序の維持と預金者保護の精神を旨とし、自らの創意と責任において資金の吸収と信用の創造を行ない、もって国民経済の発展に寄与することである。

この公共的使命に基づき、当行は地方銀行として、自己の利益と公共の利益との調和をはかりながら、地域社会に貢献する。

以上の理念に立脚し、ここに当行に職を奉ずるものよるべき軌範を定める。

一、奉仕の精神の高揚

銀行の発展は、地域社会の繁栄とともにあることを認識し、つねに奉仕の精神の高揚につとめる。

一、信用の向上

銀行の生命は信用にあることを銘記し、つねにその向上につとめる。

一、和協の精神の涵養

和協の精神は、職務遂行の根幹であることを自覚し、つねにその涵養につとめる。

七十七銀行は、こうした基本理念のもと、地域社会の持続的な発展のためにリーダーシップを発揮して、社会的責任を果たし地域社会と共生する企業となることを目指しております。

具体的には、地域経済の発展に寄与するために、地域への円滑な資金供給とお客様のニーズに合わせた商品・サービスの提供を行っております。また、地域経済の活性化のために、企業活動のサポートや各種情報の提供を行っております。さらに、良き企業市民としての観点から、社会貢献活動も継続的に行っております。

七十七銀行は、「行是」の理念を全うするために、地域社会への貢献を積極的に行い、その内容を地域の皆さまに十分にご理解いただけるよう今後とも努力してまいります。

(注) 当行にとっての「地域」とは、当行の主要な営業基盤である「宮城県」を念頭においております。

2. 地域への信用供与の状況

当行は、融資審査に関する基本的行動指針として「クレジットポリシー」を定めており、その基本理念の第一に「地域の繁栄に貢献できる融資に心がけなければならない。」ことを掲げ、さらに「当行は地域社会と共存共栄であることを常に忘れず、円滑な資金供給を通じて、地域経済の発展と地元企業の育成に貢献するよう心がけなければならない。」としています。

(1) 貸出業務全般

〔宮城県内向け貸出の状況〕

県内景気は持ち直しの動きにあるものの、回復の動きは緩やかなもので、足踏み感が強くなっております。こうしたなか、資金需要も引き続き伸び悩んでおりますが、お客様に対する資金供給に努めた結果、当行の宮城県内向け貸出金残高は約1.8%増加しました。

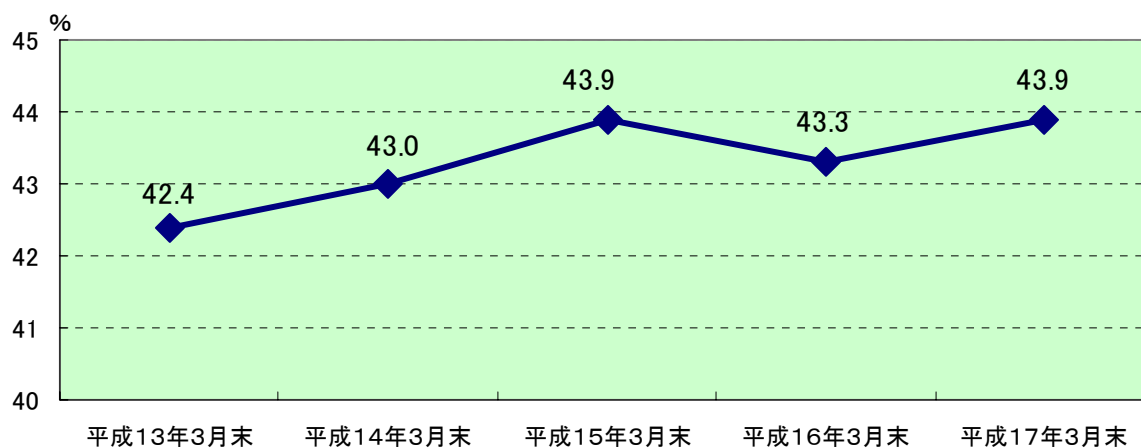
当行では、貸出金3兆2,210億円のうち約75%が県内向け貸出となっております。また、宮城県内における貸出金シェアは、43.9%と高水準を維持しました。

《宮城県内向け貸出金残高》

(単位：億円、%)

	貸出金残高	うち	同 比 率
		宮城県内向け	
平成16年3月末	31,355	23,829	76.0
平成17年3月末	32,210	24,257	75.3

《当行の宮城県内貸出金シェア推移》



(注)農漁協を含みません。

資料：宮城県銀行協会ほか

〔業種別貸出の状況〕

貸出金について業種ごとに宮城県内向けの割合をみると、残高ベースでは11業種中7業種において県内向け貸出が7割以上となっており、また、先数ベースでも金融・保険業を除く業種で県内向け貸出が8割を超えています。このように、当行は、宮城県内それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っています。

《宮城県内向け業種別貸出金残高・先数（平成17年3月末）》

（単位：億円、先、％）

	貸出金残高			貸出先数		
		うち宮城県内向け	同 比 率		うち宮城県内向け	同 比 率
製造業・鉱業	2,924	1,781	60.9	2,086	1,805	86.5
農・林・漁業	199	186	93.3	402	379	94.3
建設業	1,913	1,706	89.2	3,123	2,921	93.5
電気・ガス・熱供給・水道業	663	377	56.9	63	57	90.5
情報通信・運輸業	811	461	56.8	573	509	88.8
卸売・小売業	3,831	2,999	78.3	4,044	3,655	90.4
金融・保険業	3,083	405	13.1	99	32	32.3
不動産業	3,577	3,017	84.3	2,833	2,578	91.0
各種サービス	3,659	2,591	70.8	4,423	4,044	91.4
地方公共団体	3,940	3,911	99.3	76	74	97.4
その他	7,610	6,823	89.7	176,444	168,826	95.7
合計	32,210	24,257	75.3	194,166	184,880	95.2

(2) 中小企業向け貸出業務

〔中小企業向け貸出の状況〕

当行の中小企業向け貸出比率は残高ベースで40%、宮城県内に限れば残高の約44%が中小企業向けとなっています。

《中小企業向け貸出金残高・先数》

(単位：億円、先、%)

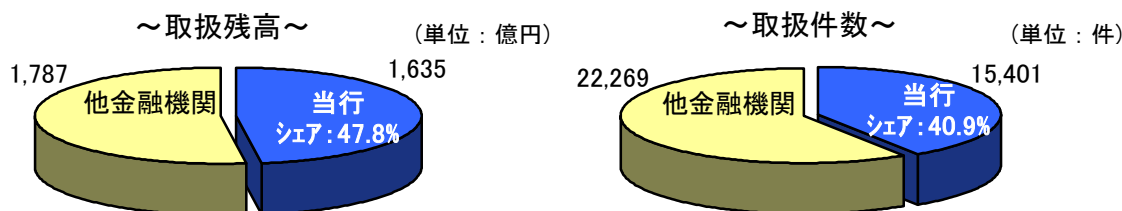
	貸出金残高	うち中小企業向け		貸出先数 (個人、地方公共団体除く)	うち中小企業向け	
		金額	同 比 率		先数	同 比 率
平成16年3月末	31,355	12,535	40.0	17,826	17,369	97.4
うち宮城県内向け	23,829	10,784	45.3	16,145	15,964	98.9
平成17年3月末	32,210	12,882	40.0	17,648	17,202	97.5
うち宮城県内向け	24,257	10,781	44.4	15,981	15,809	98.9

(参考) 宮城県内の従業者数300人以下の事業所数は115千事業所(総務省「事業所・企業統計調査報告」…平成13年10月1日)であり、当行は宮城県内中小企業のほぼ7社に1社に対して貸出を行っていることとなります。

〔宮城県信用保証協会保証付貸出への取組状況〕

当行は、宮城県信用保証協会と連携し同協会保証付貸出を推進しており、同協会保証付貸出の当行の取扱シェアは残高、件数とも4割を超えています。

《宮城県信用保証協会保証付貸出の取扱残高・件数(平成17年3月末)》



資料：宮城県信用保証協会

■ 主な保証協会保証付融資商品

地方公共団体制度融資(取扱件数：8,528件)、中小企業金融安定化特別保証(2,040件)、普通保証(783件)のほか以下の商品を推進しています。

◆事業者カードローン(信保口)～制度名は事業者カードローン当座貸越根保証ご契約極度額の範囲内であれば、いつでも自由にお使いいただけます。

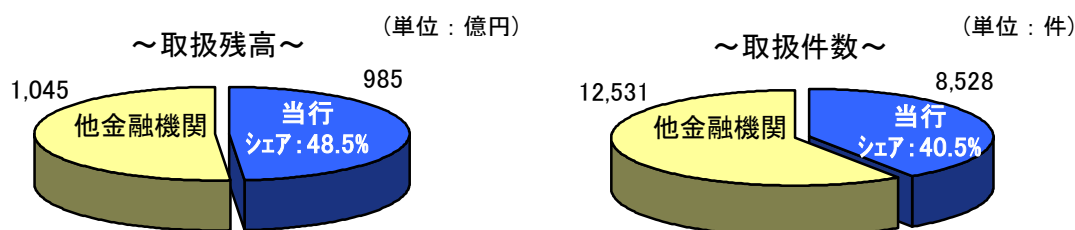
平成17年3月末残高：3,131件／139億円(極度額)

- ◆事業者ローン（県信保口）～制度名は合理化資金保証
3年以上同一事業を宮城県内で営み、銀行が特に推薦する中小企業に融資します。
平成17年3月末残高：168件／23億円
- ◆事業者ローン（クイックⅠ・クイックⅡ）～制度名は（小額）クイック保証
1年以上同一事業を宮城県内で営む中小企業を対象とし、融資諾否のスピード回答、第三者保証人不要などが特徴です。
平成17年3月末残高：234件／25億円
- ◆中小企業特定社債保証
純資産が3億円以上の中小企業が発行する社債に銀行と共同保証（保証協会が90%、銀行が10%）します。なお、財務要件を満たす必要があります。
平成17年3月末残高：32件／37億円
- ◆上記のほか、資金繰り円滑化借換保証、売掛債権担保融資保証に基づく融資も取扱っています。

〔地方公共団体制度融資への取組状況〕

当行は、地方公共団体の制度融資を積極的に推進しており、当行の取扱シェアは残高ベースで約49%となっています。

《地方公共団体制度融資の取扱残高・件数（平成17年3月末）》



資料：宮城県信用保証協会

■ 主な地方公共団体制度融資

- ◆宮城県中小企業経営安定資金
宮城県内の中小企業を対象とし、一般資金と売掛債権担保活用資金、セーフティネット資金に区分されます。
平成17年3月末当行残高：3,901件／620億円
- ◆仙台市中小企業育成融資制度
仙台市内の中小企業を対象とし、振興資金と経済変動対策資金に区分されます。
平成17年3月末当行残高：2,528件／248億円
- ◆市町村中小企業振興資金保証制度
市町村の制度要綱に基づき、市町村長が認める企業を対象とした制度融資です。
平成17年3月末当行残高：1,628件／80億円
- ◆上記のほか、中小企業産業振興資金、仙台市小規模企業小口資金などを取扱っています。

【その他の中小企業向け融資商品等】

■ 77ビジネスローン〈フォワード30〉

当行との融資取引1年以上の法人のお客さまに、短期の運転資金としてご利用いただけます。申込を受付した翌営業日までに回答し、無担保・第三者保証人不要とするなど、「速さ」と「簡便さ」に重点を置いた、緊急の資金需要に対しても迅速な対応が可能な融資商品です。幅広いお客さまへのご融資を可能とした「ミドルリスク・ミドルリターン型商品」です。

平成17年3月末残高：1,149件／94億円（宮城県内向け残高：93%）

■ 77ビジネスローン〈アクティブ30〉〈アクティブ10〉

〈アクティブ30〉は当行と融資取引のあるお客さまに、〈アクティブ10〉は融資取引のないお客さまにご利用いただけます。いずれもスピード回答、無担保・第三者保証人不要など、「速さ」と「簡便さ」を特徴としています。また、融資期間は最長3年であり、運転資金・設備資金両方にご利用いただけます。

平成17年3月末残高：1,205件／83億円（宮城県内向け残高：90%）

■ 私募債

「物上担保付私募債」、「県信保付私募債」、「銀行保証付私募債」の受託および引受を行っております。当行がその元利金支払を全額保証する「銀行保証付私募債」では、期日一括償還型のほか、定時償還型も取扱い、お取引先企業の資金調達ニーズに幅広くお応えしております。

平成17年3月末取扱残高：74件／103億円（宮城県内取扱残高：97%）

■ 77パートナーズスペシャルファンド

一定の財務要件を満たす優良企業を対象とした取扱期間および取扱総額限定の商品です。融資期間中の財務指標の変化に応じて金利を変更する財務制限条項をつけており、同条項を活用することで担保・第三者保証人を不要とするとともに、低利の固定金利資金を提供しています。平成16年5月に取扱を開始し、現在は、5月9日から8月1日までの予定で取扱っています。

平成17年3月末残高：346件／253億円（宮城県内向け残高：89%）

- そのほか、会計事務所支援事業会社TKCの会員会計事務所と顧問契約のある法人の皆さまを対象とした「TKC戦略経営者ローン」、中・長期資金をスワップ金利を基準とした固定金利でご利用いただける「77スペシャルファンド」、新技術の開発や新分野への進出等における研究開発資金にご利用いただける「77ニュービジネス支援資金」などを取り揃えています。

(3) 個人向け貸出業務

〔個人向け貸出の状況〕

当行の個人向け貸出比率は残高ベースで22%、宮城県内に限れば約28%が個人向けとなっています。

《個人向け貸出金残高・先数》

(単位：億円、先、%)

	貸出金残高	うち		貸出先数	うち	
		個人向け	同 比 率		個人向け	同 比 率
平成16年3月末	31,355	6,966	22.2	195,413	177,513	90.8
うち宮城県内向け	23,829	6,684	28.1	185,711	169,494	91.3
平成17年3月末	32,210	7,101	22.0	194,166	176,442	90.9
うち宮城県内向け	24,257	6,823	28.1	184,880	168,825	91.3

(注) 総合口座当座貸越を含みます。

(参考) 宮城県内の20才以上の人口は1,901千人(宮城県「宮城県推計人口」…平成16年10月1日)であり、当行は宮城県内成人のほぼ11人に1人に対して貸出を行っていることとなります。

〔住宅ローンの取扱状況〕

当行の住宅ローンは残高・件数とも増加傾向にあり、約97%が宮城県内向けの取扱いとなっています。

住宅借入金等特別控除など政府による景気刺激策が継続されるなか、当行も地域経済浮揚に向け、積極的な住宅ローン推進に努めなければならないと考えています。

《宮城県内向け住宅ローン残高・件数》

(単位：億円、件、%)

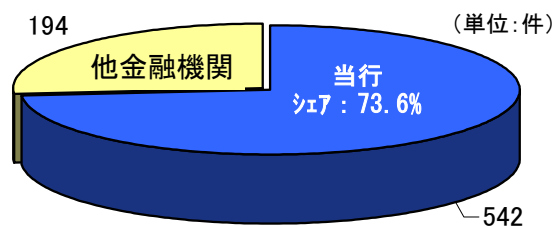
	住宅ローン 残 高	うち宮城 県内向け		住宅ローン 件 数	うち宮城 県内向け	
		同 比 率	同 比 率		同 比 率	同 比 率
平成16年3月末	5,769	5,576	96.7	52,707	51,098	96.9
平成17年3月末	5,983	5,784	96.7	53,523	51,891	97.0

(参考) 宮城県内の持ち家世帯数は492千世帯(総務省「平成12年国勢調査報告」)であり、当行は宮城県内持ち家世帯のほぼ10世帯に1世帯に対して貸出を行っていることとなります。

〔住宅金融公庫貸付受託業務の取扱状況〕

当行は、住宅金融公庫貸付について宮城県内取扱件数の7割以上を取扱っています。住宅金融公庫による宮城県の皆さまへの円滑な資金供給について、当行はその一翼を担っています。

《住宅金融公庫貸付の宮城県内取扱件数内訳（平成16年度）》



資料：住宅金融公庫東北支店

〔個人向け融資商品の取扱状況〕

■ 住宅ローン

住宅の新築・増改築、建売住宅・マンション・土地の購入など住みづくりのための資金調達、または他の金融機関で借入れしている住宅ローンのお借換えを目的としたローンです。

■ 暮らしあっぷローン

ライフプランや目的に合わせて、マイカープラン・教育プラン・フリープラン・フリープランワイドの4種類をご用意しています。全て保証会社保証付の無担保・無保証人のローンです。

平成17年3月末残高：98億円（宮城県内向け残高：97%）

■ カードローン

当座貸越専用口座を開設するとともに、専用カードを交付し、そのカードにより現金自動支払機を利用して貸付けいたします。所定の極度額の範囲内であれば、反復して自由に借入可能なローンです。

平成17年3月末残高：272億円（宮城県内向け残高：94%）

◆ 77モビット

上記カードローンのうち、消費者金融会社の（株）モビットと保証提携しているカードローンです。24時間365日、電話、郵送、ファックス、インターネットで簡単かつ短時間で申込みいただけ、審査結果をスピード回答いたします。また、当行とお取引がなくても申込可能となっています。

平成17年3月末残高：36億円（宮城県内向け残高：97%）

■ その他の融資商品

居住用不動産に根抵当権を設定することにより反復してご利用できる資金使途自由な「よゆうのローン」、各市町村と提携した提携ローンなどがあります。

■ 休日ローン相談会

平日、銀行へのご来店が難しいお客さまにローンに関するご相談の機会を提供するため、休日ローン相談会を開催しています。

《休日ローン相談会の開催状況（平成16年度）》

	開催回数	開催店舗数（のべ）	ご相談者数（のべ）
営業店	12回	427カ店	1,442人
ローンセンター	37回	83カ店	608人

■ 取引チャネルの状況

◆ローンセンター

仙台市内4カ所に、住宅ローンを専門的に取扱う拠点としてローンセンターを設置しており、当行全体の取扱件数の3割弱を取扱っています。なお、平成16年10月からは、泉ローンセンターで毎週日曜日の営業を開始しました。

《ローンセンターの取扱状況（平成16年度）》

（単位：件、％）

	当行住宅ローン	住宅金融公庫 貸付受託業務	合計
当行全体の取扱件数 a	5,002	542	5,544
ローンセンターの取扱件数 b	1,208	383	1,591
ローンセンターの取扱比率 b/a	24.2	70.7	28.7

◆取引チャネルの多様化等

お客さまの利便性を高めるため、取引チャネルの多様化を進めています。また、当行ホームページでは、住宅関連の総合情報を提供する「77住まいづくり応援プラザ」、資産づくり・資金計画など暮らしに関する情報を提供する「77 MONEY PLAN」などのサイトを提供しており、個人のお客さまのライフプランに合わせた各種情報やシミュレーション機能をご利用いただけます。

《取引チャネル別無担保ローン受付状況（平成16年度）》

（単位：件）

	くらしあっぷローン等	77モビット	合計
店頭	9,985	5	9,990
電話	—	5,456	5,456
F A X	782	551	1,333
インターネット	485	417	902
郵送	910	824	1,734
合計	12,162	7,253	19,415

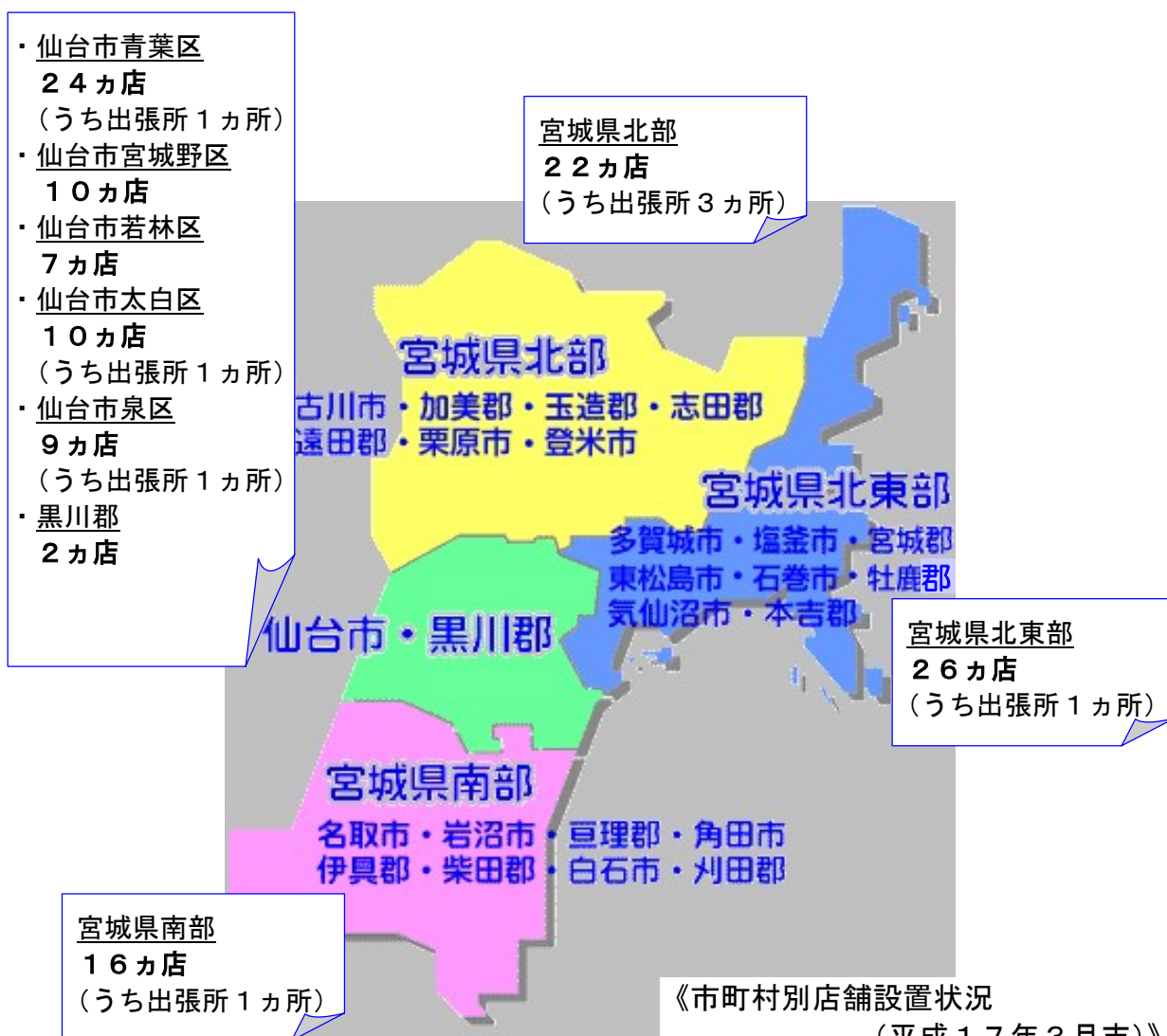
3. 地域のお客さまへの利便性提供の状況

(1) 店舗網等各種チャネルの整備

〔有人店舗の状況〕

■ 店舗網

当行は、出張所を含め141カ店の店舗のうち、宮城県内に126カ店を展開しています。



※平成17年4月1日の市町村合併後の地図で表示しております。

	宮城県内 市町村数	当行店舗有	
		当行店舗有	店舗数
市	10	10	87カ店
町	57	36	39 "
村	2	0	0 "
合計	69	46	126 "

■ お客さまのご来店状況

当行の宮城県内の店舗では、一日あたり約191千件のご利用をいただいています。

《お客さまご利用件数（平成16年度）》

	総ご利用件数	うち 宮城県内店舗 ご利用件数	うち	
			一日平均	一店舗平均
窓口ご利用件数	8.4百万件	8.0百万件	32,746件	258件
A T Mご利用件数	57.9 "	56.3 "	158,628 "	1,274 "
合計	66.3 "	64.3 "	191,374 "	1,533 "

(注) 窓口ご利用件数は窓口での受付件数を、A T Mご利用件数は店舗内A T Mのご利用件数を示しています。

■ 休業日におけるお客さまのトラブル対応

休業日におけるお客さまのトラブル対応の体制は、次のとおりとなっています。

- ◆お通帳、キャッシュカード等の紛失、盗難等緊急の場合のご連絡
フリーダイヤル（0120-77-1099）をご利用下さい。
- ◆A T M操作時トラブル発生等のご連絡
A T Mコーナーに備付けのガイドフォンをご利用下さい。

《フリーダイヤル、ガイドフォンによる 休業日のお客さま対応状況（平成16年度）》

(単位：件)

照会等件数	一日平均
52,331	436

【A T Mの状況】

■ A T Mネットワーク

当行は、宮城県内のキャッシュサービスコーナー347カ所（店舗内126、店舗外221）にA T Mを858台設置しています。

《キャッシュサービスコーナー、A T Mの設置状況（平成17年3月末）》

(単位：カ所、台)

キャッシュ サービスコーナー	うち宮城県内	A T M設置台数	
		うち宮城県内	
364	347	888	858

■ A T M利用状況

当行の宮城県内A T Mの一日一台あたりのご利用件数は、3 0 0 件を超えています。

《A T Mのご利用件数（平成1 6 年度）》

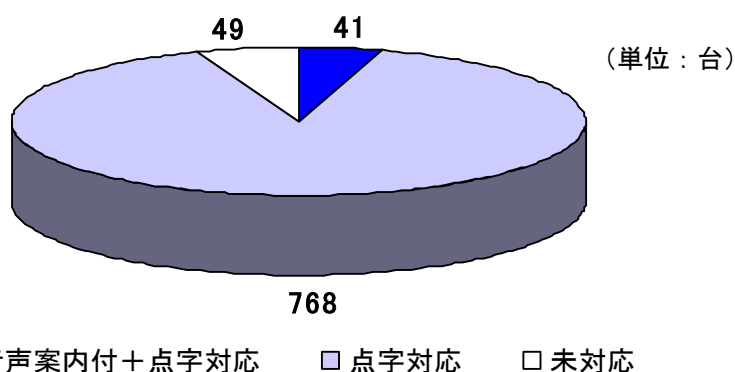
総 合 計	うち宮城県内キャッシュサービスコーナー			
	一日一台あたり		店舗内	店舗外
8 9 百万件	8 7 百万件	3 1 5 件	2 9 5 件	3 5 7 件

(注) 店舗外A T Mを含めたご利用件数を示しています。

■ 障害者対応A T Mの設置状況

宮城県内に設置しているA T M 8 5 8 台のうち、9 割を越える8 0 9 台のA T M が音声案内付ないし点字対応となっており、今後さらに充実をはかってまいります。

《音声案内付ないし点字対応A T Mの
宮城県内設置状況（平成1 7 年3 月末）》



■ 他業態との提携

当行のA T Mネットワークは、全国の金融機関と提携しているほか、お客さまにより有効にご利用いただくために、次のクレジット・信販会社等1 7 社および郵貯と提携しています。当行A T Mを利用し、キャッシングサービスやお引出し・ご入金などのお取引を可能としています。

《クレジット・信販会社等提携先（平成1 7 年3 月末）》

- ・ ジェーシービー
- ・ ユーシーカード
- ・ 日本信販
- ・ クレディセゾン
- ・ プロミス
- ・ アイフル
- ・ V I S A ジャパングループ
- ・ ユーエフジェイカード
- ・ オリエントコーポレーション
- ・ セントラルファイナンス
- ・ イオンクレジットサービス
- ・ G E コンシューマー・ファイナンス
- ・ ディーシーカード
- ・ 日専連
- ・ ジャックス
- ・ オリックス・クレジット
- ・ トヨタファイナンス

〔チャンネル多様化への取組状況〕

当行は、お客さまの多様なニーズにお応えして、店舗に来店せずに直接ご利用いただけるよう、以下のようなダイレクトチャンネルを充実してまいりました。

◆テレフォンバンキング

「〈七十七〉テレフォンバンキング」は、会員のお申込みをしていただくと、電話による残高・入出金照会、振替、振込、新規口座の開設、定期預金作成・解約予約が可能となります。お取引時間は平日の9時から19時までです。自動音声対応とオペレーター対応があります。

◆インターネットバンキング

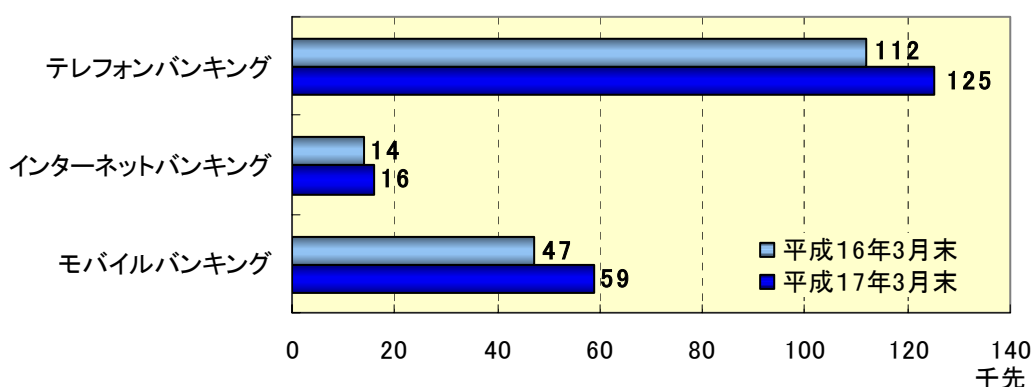
「〈七十七〉インターネットバンキング」は、お客さまのパソコンからインターネットによりお取引いただくサービスです。残高・入出金照会、振替、振込、定期預金作成・解約予約が24時間いつでもご利用いただけます。

◆モバイルバンキング

「iモード」、「EZWeb」、「ボータフォンライブ！」対応の携帯電話でご利用いただけるサービスです。残高・入出金照会、振替、振込が24時間いつでもご利用いただけます。

なお、当行のダイレクトチャンネル会員は、そのほとんどが宮城県にお住まいの方となっています（平成17年3月末のテレフォンバンキング会員中、約99%が宮城県在住）。宮城県内にお住まいで当行に口座をお持ちの個人の方のうち、テレフォンバンキング会員は4%程度であり、今後とも、会員数の拡大をはかってまいります。

《各ダイレクトチャンネルの宮城県内会員数》



（注）インターネット、モバイルバンキング会員は、入会の条件として、テレフォンバンキング会員である必要があります。

(2) 預金業務等

〔宮城県内の預金等取引の状況〕

当行は、預金・譲渡性預金や投資信託等の預り資産のいずれも、その9割以上を宮城県内のお客さまからお預りしています。特に預金については、金融機関の健全性が重要視されるなか、地域のお客さまから高いご支持をいただき、宮城県内における預金シェアは約54%となっています。

《宮城県内預金・譲渡性預金、預り資産残高》

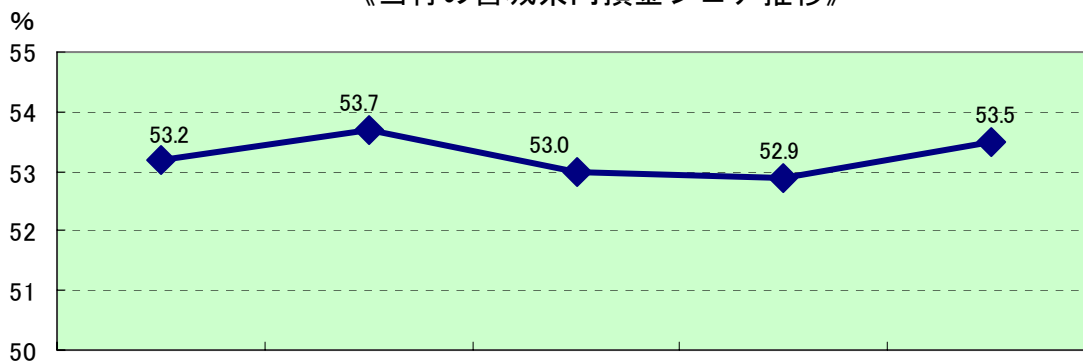
(単位：億円、%)

	預金・ 譲渡性預金 残高	うち 宮城県内		預り資産 残高	うち 宮城県内	
		金額	同比率		金額	同比率
平成16年3月末	49,420	45,111	91.3	1,401	1,244	88.8
平成17年3月末	50,487	46,046	91.2	2,237	2,072	92.6

(参考) 預り資産とは、投資信託・個人年金保険・公共債・外貨預金の総称です。当行の17年3月末の宮城県内における各預り資産残高は次のとおりとなっています。

投資信託：169億円、個人年金保険：170億円、公共債：1,611億円、外貨預金：122億円

《当行の宮城県内預金シェア推移》



平成13年3月末 平成14年3月末 平成15年3月末 平成16年3月末 平成17年3月末

(注) 郵貯、農漁協を含みません。

資料：宮城県銀行協会ほか

〔主な預金商品〕

いつでもお引出しできる預金として、「普通預金」、「決済用普通預金※」「スーパー貯蓄」等のお取扱いのほか、一冊の通帳に普通預金・定期預金がセットできる便利な「総合口座」を取扱っています。

また、定期預金として、「スーパー定期」「大口定期」「変動金利定期預金」「半年複利型定期預金（スーパーセブン）」「期日指定定期預金」など、お客さまのニーズに合わせた商品を取扱っています。

さらに「積立預金」「定期積金」「財形預金」など、お客さまのプランに合わせて積立ができる商品を取扱っています。

※決済用普通預金は、預金保険制度による全額保護の対象となります。普通預金と同じようにいつでも出し入れができるうえ、公共料金等の自動支払い、給料・年金等の自動受取りなどができます。ただし、利息はつきません。

〔主な金融商品販売業務〕

■ 投資信託窓口販売業務

お客さまの中長期的な資産形成のニーズにお応えするための商品と位置づけ、さまざまな投資信託商品をご用意しています。現在では、20種類のファンドに加え、募集期間限定のファンドも販売しています。また、お客さまのライフプランに合わせて月々一定金額の購入が可能な「〈七十七〉積立投信」を販売しています。

■ 生命保険窓口販売業務

個人年金保険は、お客様のセカンドライフの資金準備等のための貯蓄機能と、万一の場合の死亡保障機能を併せ持ち、一定期間あるいは生涯にわたって毎年年金方式で受取ることができる生命保険です。現在では、変額個人年金保険7商品、定額個人年金保険2商品、外貨建個人年金保険1商品を販売しています。

■ 損害保険窓口販売業務

当行住宅関連ローンご利用のお客さまを対象に、住宅の火災保険9商品を販売しています。また、万一の事故による死亡・後遺障害を補償する年金払積立傷害保険1商品を販売しています。

(3) 決済サービス

〔主な決済サービスの宮城県内利用状況〕

個人のお客さまにご利用いただく当行の主な決済サービスの97%以上は、宮城県内にお住まいのお客さまにご利用いただいています。

《主な個人向け決済サービスにおける宮城県内ご利用者数（平成17年3月末）》

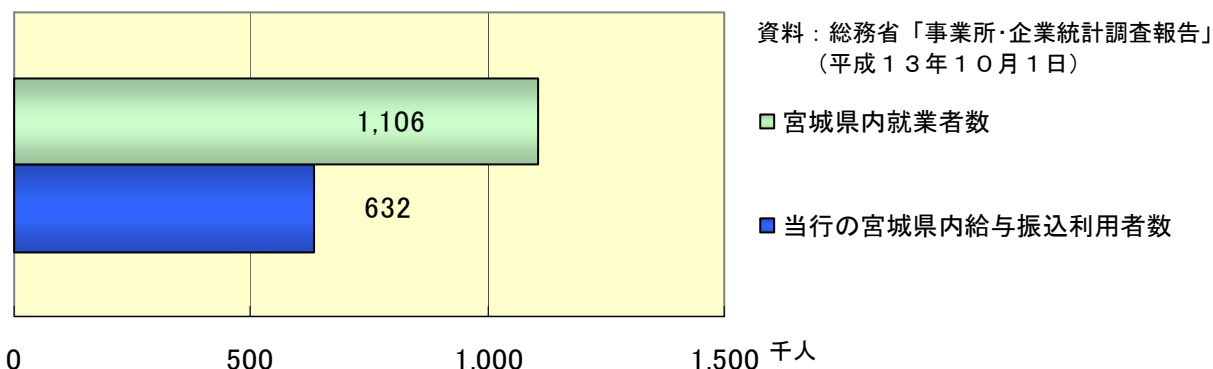
（単位：千先、%）

	ご利用者数	うち 宮城県内	
			同比率
給与振込	647	632	97.6
年金振込	215	210	97.7
公共料金自動振替	885	861	97.4

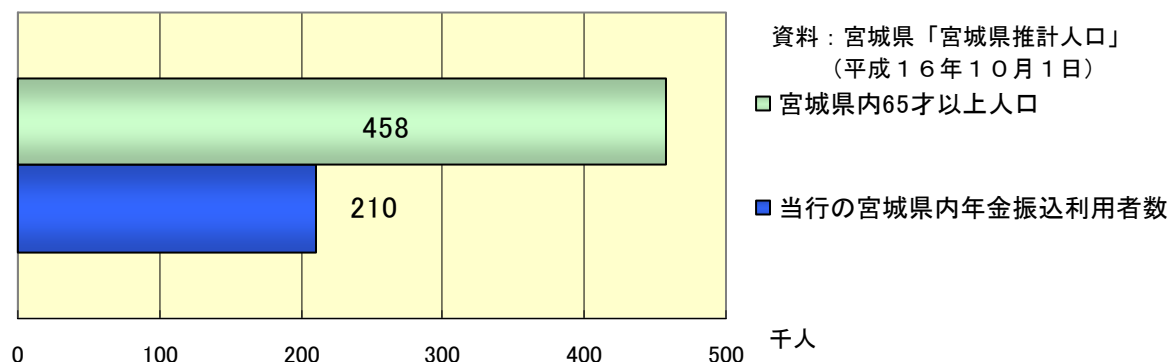
〔給与・年金振込利用者の当行利用状況〕

当行の口座を利用して給与を受け取る宮城県内のお客さまは、宮城県内就業者数の5割を超え、同様に年金を受取る皆さまは、宮城県内65才以上人口の4割を超えており、地域の多くの皆さまから家計のメインバンクとしてご利用いただいています。

《宮城県内給与振込利用者数（平成17年3月末）》



《宮城県内年金振込利用者数（平成17年3月末）》



〔主な決済サービス〕

■ 口座振替サービス

各種公共料金、保険料、税金、クレジット代金等を、お客さまの指定口座から自動的に支払うサービスです。

■ 自動送金サービス

家賃、学費の仕送り等の定期的な支払いを、指定日に自動的に受取人の口座へ送金するサービスです。

■ カードサービス

加盟店でのショッピングや食事などの際に、現金を介さずにキャッシュカードで即時決済が可能となるデビットカードを取扱っています。また、当行のグループ会社である「七十七カード」が発行する各77カード（JCB、VISA、Master）を取扱っています。

(4) その他のサービス

〔地域の皆さまへの情報提供〕

■ お取引先企業への情報提供

宮城県内126カ店と県外15カ店の営業拠点を活用して、お客さまからさまざまな情報やニーズをお受けしています。これらを、営業店網を通じて他のお取引先企業に提供し、お客さまの商談や経営効率化等につなげられるよう努めています。

◆ 77 BUSINESS SUPPORT

「77 BUSINESS SUPPORT」は、当行ホームページにおいて企業活動に資する情報をお取引先企業に無料で提供する会員制サイトです。このサイトでは、全国の地方銀行の会員間で営業情報を共有しビジネスに結びつけるコーナーや、ニュース・経営情報なども常時提供しています。24時間・365日アクセス可能で、インターネット接続可能なパソコンをお持ちのお取引先企業であればお申込みできます。



■ 各種調査結果の公表

◆ 「調査月報」(年12回発行) …宮城県内の経済・景気動向の調査、分析

◆ 「県内企業動向調査」(年4回実施) …宮城県内約700社の企業を対象に、県内の景況感等の把握を目的としたアンケート調査を実施、分析結果を公表

◆ 「相談実務」(年12回発行) …税務、法務等に関する情報提供誌

◆ その他タイムリーなテーマについて調査・公表

平成16年度は、宮城県内の貸家の需給動向および東北地方の地産地消の経済効果に関する調査を実施し、分析結果を公表

■ 年金講演会・相談会および資産運用セミナーの開催

お客さまに年金について十分ご理解いただくために、社会保険労務士による年金の講演会・相談会を開催しています。また、金融資産の運用に関する情報をご提供するために、当行のマネーアドバイザーによる資産運用セミナーを開催しています。お客さまのご要望にお応えしながら、宮城県内各地で実施し、休日の開催も行っています。

《年金講演会・相談会および資産運用セミナーの開催状況(平成16年度)》

開催回数(うち休日)	21回(7回)
開催場所	仙台市内ほか10市町村
講演会・相談会参加人数	のべ約1,000人

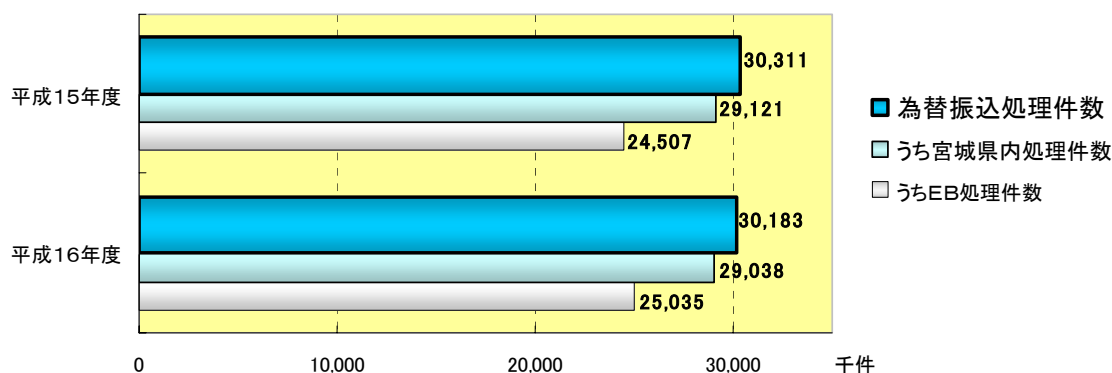
〔E B等の推進〕

当行では、お待たせしない窓口づくりの一環として、為替振込等取引の電子化（E B）等を推進しています。インターネットバンキングなどのE B媒体やA T M等をご利用いただければ、窓口でお待ちいただくことなく取引できることに加え、窓口ご利用の場合と比べて振込手数料が安くなります。

現在、当行の為替振込処理のうち約96%が宮城県内のお客さまからのご依頼分であり、そのうち約86%をA T M、インターネットバンキング、ファームバンキング等にてお取り扱いしています。

なお、ファームバンキング（F B）は法人・個人事業者向けサービスで、お客さまのパソコンや専用端末などセブンメイトシリーズにより提供しています。

《為替振込のE B処理状況》



《F B契約先数（平成17年3月末）》

(単位：先)

F B契約先数	セブンメイト・セブンメイトPC・セブンメイトWEB	
	うち宮城県内	うち宮城県内
15,762	14,709	8,670

〔その他のサービス〕

■ 〈七十七〉ポイントセブン

〈七十七〉ポイントセブンは給与振込・年金振込などのお受取りや公共料金の自動支払いなどお客さまとの取引をポイントに換算し、合計ポイント数に応じてローン金利や手数料の優遇、キャッシュカードの盗難・偽造にかかる被害に対する保険付保などの特典があるサービスです。

また、お客さまの指定する最大3カ店の取引ポイントを合算し、合算ポイント数に応じた優遇サービスを提供する「合算サービス」も取扱っています。

■ 通帳盗難保険の付保サービス

公的年金の振込実績がある当行普通預金口座を対象とした「通帳盗難保険」付保サービスを取扱っています。付保対象となる通帳について、盗難・紛失によって不正に引出された場合の損害額を、1口座あたり年間200万円を上限に補償するサービスです。なお、保険料は無料で、公的年金の振込実績に基づき自動的に付保されるため、申込手続も不要です。

〔子会社等を通じた利便性の提供〕

■ 労働者派遣業務

グループ会社の「七十七スタッフサービス」において労働者派遣業務を行っています。当行への派遣のほか、宮城県内企業に対する派遣を行っています。

■ リース業務

グループ会社の「七十七リース」においてリース業務を行っています。主として宮城県内企業に対し、ファイナンスリースを取扱っています。

《宮城県内企業に対するリース契約状況（平成17年3月末）》

リース契約先数（先）	うち宮城県内（先）	
	先数	同比率（%）
3,964	3,781	95.4

（注）当行を除きます。

■ 計算業務等の受託

グループ会社の「七十七コンピューターサービス」において計算業務等の受託を行っています。

《宮城県内事業所からの計算業務等の受託状況（平成17年3月末）》

	受託事業所先数（先）		
	先数	うち宮城県内（先）	同比率（%）
民間事業所	83	83	100.0
地方公共団体	23	22	95.7
合計	106	105	99.0

（注）当行を除きます。

■ クレジットカード業務

グループ会社の「七十七カード」においてクレジットカード業務を行っています。JCB、VISA、Masterの各カードを取扱っています。

《宮城県在住の七十七カード個人会員の状況（平成17年3月末）》

	七十七カード 個人会員数（人）		
	会員数	うち宮城県内（人）	同比率（%）
JCB	136,207	125,175	91.9
VISA	45,632	41,756	91.5
Master	3,370	3,136	93.1
合計	185,209	170,067	91.8

4. 地域経済活性化への取組状況

(1) 地元企業のサポート

[地元企業の経営相談等への取組状況]

■ 経営相談

「経営相談センター」では、お電話や営業店を通じ、企業の皆さまから法律・経営・財務・税務に関するご相談をいつでも無料で受けており、このうち9割は宮城県内企業からのご相談となっています。また、毎週特定日には専門家による無料相談も行っています。

《宮城県内企業からの経営相談実績（平成16年度）》

◆ 相談受付件数

(単位：件)

法律 183	経営・財務 395	税務 169	その他 83
-----------	--------------	-----------	-----------

合計：830（うち嘱託専門家：161）

◆ 報告書・提案書作成件数

(単位：件)

事業承継 11	経営診断 36	その他 5	(参考) 相続対策・不動産活用～個人向け 25
------------	------------	----------	----------------------------

合計：52

- (注) 1. 事業承継とは、自社株の評価等事業の承継等に関する相談をいいます。
2. 経営診断とは、財務分析、事業開始に伴う商圈・業界調査等に関する相談をいいます。

■ 地元企業の研修会等のサポート

当行では、地元企業の皆さまに対し、企業経営・社員教育等に役立つような講演会・研修会を開催したり、お取引先企業への講師派遣を行っています。

《外部講師による講演会（平成16年度）》

夏季経済講演会	平成16年7月開催。参加人数約350人。
七十七経営戦略セミナー	平成16年9月、企業型確定拠出年金（日本版401k）をテーマに開催。参加人数約70人。
新春講演会	平成17年1月開催。参加人数約550人。

《当行行員講師による講演会・研修会（平成16年度）》

調査部長等による講演会	お取引先企業に対し、調査部長・部員を派遣し、講演会、研修会で講演。当期派遣実績は8先。
新入社員研修会	平成16年4月、本店ほか2会場にて5回開催。参加人数はのべ約300人。社会人として必要な挨拶・電話応対等が中心。
待遇対応研修会	お取引先企業など4先に対し、講師派遣。

■ 海外取引等のサポート

◆ 海外ミッションの派遣

海外進出や海外取引を希望するお取引先企業を対象として、海外への視察団（海外ミッション）を派遣し、現地の経済情勢や投資環境等の視察・調査を行っています。平成8年より開始し、これまでに9回の派遣を行っています。毎回20社前後のお取引先企業が参加し、現地企業との商談も成立しています。



◆ セミナーの開催等

地元企業の皆さまに、海外の経済情勢、投資環境等の情報を提供する目的で、セミナーの開催や情報誌「ワールドクォーターリー77」の発行を行っています。

◆ 「人民元建融資保証」の取扱開始

平成16年11月、中国国内に設立されたお取引先の現地法人を支援するため、中国の四大銀行の一つである中国銀行（本店：北京市）と業務提携し、人民元建融資保証の取扱を開始いたしました。お取引先現地法人が、中国銀行の現地本支店より人民元建融資を受ける際に、当行が中国銀行東京支店に対して融資の保証を行うことにより、円滑に融資を受けることが可能となります。

■ 地元企業への人材派遣

当行の平成17年3月末の外部出向者37名のうち、ほぼ8割にあたる29名を宮城県内企業に派遣しています。

《宮城県内企業への派遣実績（平成17年3月末）》

（単位：人、％）

外部出向者数	うち 宮城県内企業	同比率
37	29	78.4

（注）当行のグループ会社、関連団体への出向者を含みません。

〔地元企業再生への取組状況〕

当行では、お取引先企業の財務内容を改善し、当行自己査定上の債務者区分をランクアップさせるべく、お取引先企業の経営に対する指導・助言を強化する「ランクアップ活動」を行っています。具体的には、審査部内に「ランクアップチーム」を設置し、営業店と連携しながら、貸出残高1億円以上の債務者区分「要注意先」および「要管理先」のお取引先企業に対し、財務内容改善のための指導・助言の強化、および「経営改善計画書」策定の指導を行っています。

《ランクアップ活動の状況（平成16年度）》

（単位：先、億円）

ランクアップ内容	先数	貸出額
要管理先から上位区分へ	16	40
要管理先以外の要注意先から正常先へ	60	254
合計	76	294
うち宮城県内取引先 （宮城県外本社の上場企業を除く）	63	238

(2) 企業の育成への取組み

〔企業育成への取組状況〕

■ 財団法人七十七ビジネス振興財団

当行は、宮城県の産業振興と経済発展への貢献を目的として、平成10年4月に「財団法人七十七ビジネス振興財団」を設立いたしました。

同財団では年1回「七十七ビジネス大賞」および「七十七ニュービジネス助成金」の表彰事業等を行っており、平成16年度は11月に受賞企業を表彰いたしました。また、講演会やセミナー開催のほか、情報誌の発行等も行っています。

なお、平成16年度の受賞企業は次のとおりです。

「七十七ビジネス大賞」

- ・ 株式会社かわむら（本吉郡唐桑町）
- ・ 株式会社小山商会（仙台市青葉区）
- ・ 株式会社日本セラテック（仙台市泉区）

「七十七ニュービジネス助成金」

- ・ 株式会社イデアルスター（仙台市青葉区）
- ・ 株式会社ガーデン二賀地（仙台市青葉区）
- ・ 株式会社プラスヴォイス（仙台市青葉区）



■ 創業企業等への投融資の状況

当行では、地域金融機関として地元中小企業を育成する観点から創業（ベンチャー）企業等に対し、以下のような融資制度、投資事業を行っています。

◆ 「77ニュービジネス支援資金」

ご融資金額1億円以内で、新技術の開発や新分野への進出等における研究開発資金、事業展開資金としてご利用いただけます。また平成16年8月に産業クラスター計画関連等の補助金や委託費の交付決定先企業を対象に「つなぎ資金」の取扱いを開始しました。

◆ 宮城県等の各種制度融資

宮城県の創業育成資金、仙台市の新事業創出支援融資制度等の創業企業向け各制度融資を積極的に活用しています。

◆ ベンチャー育成ファンド「あおばサクセス壱号投資事業有限責任組合」

平成15年3月に設立された投資事業組合で、みやぎ産業振興機構のほか、当行はじめ宮城県内大手企業など13団体が5億4,000万円を出資し、宮城県内の産業振興、雇用対策を目的に、宮城県を中心とした東北6県等に本社を置く企業に投資することとしています。

◆ 産学官連携ベンチャーファンド「東北インキュベーション投資事業有限責任組合」

平成16年3月に設立された投資事業組合で、当行はじめ宮城県・仙台市他12団体が3億8,000万円を出資し、東北地域における新規事業の創出および中小企業等の成長支援を目的に投資することとしています。

(3) 地方公共団体の事業との関係

〔指定金融機関業務の受託状況等〕

指定金融機関と指定代理金融機関を合わせ、宮城県内地方公共団体の93%から公金取扱業務を受託しており、財政資金の納入や支払等の事務を行うなど広く県内の皆さまにご利用いただいています。

また、当行は、ATMネットワークにおけるエリア内の拠点性を考慮し、地方公共団体や関連施設へのATM設置を進めています。

《宮城県内地方公共団体からの指定金融機関業務の受託状況（平成17年3月末）》

「指定金融機関」を受託 47	「指定代理金融機関」 を受託 18	5
-------------------	-------------------------	---

(単位：先) 指定なし

《宮城県内地方公共団体へのATM設置状況（平成17年3月末）》

(単位：先、台)

形態	ATM 設置先数	ATM 設置台数
庁内支店	2	7
出張所	3	3
店舗外ATM	39	43
合計	44	53

〔地方公共団体関連事業への人材派遣〕

当行の地方公共団体関連事業への人材派遣実績は、平成17年3月末で4名となっています。

〔地方公共団体向け資金供給の状況〕

当行は、豊かで住みよい街づくりのために、地方公共団体に対し円滑な資金供給に努めており、道路や病院、学校、住宅等の整備事業や福祉の向上など地域社会の発展に積極的に協力しています。

■ 地方公共団体向け貸出の状況

平成17年3月末現在、当行は、宮城県内70の地方公共団体のうち56団体に貸出を行っています。

《宮城県内地方公共団体向け貸出等の状況》

(単位：先、億円)

	貸出金		(参考) 預金・譲渡性預金	
	取引地方公共団体数	残高	取引地方公共団体数	残高
平成16年3月末	55	3,318	67	2,886
平成17年3月末	56	3,887	68	2,578

(注) 特別地方公共団体、地方公社との取引を除きます。

■ 地方債(債券)の引受け、販売状況

当行は、地方公共団体の発行する銀行等引受債や公募地方債の引受けを行っており、平成16年度の引受額は、合わせて380億円を超えています。

共同発行公募地方債は、平成15年4月から地方公共団体が共同で発行している公募地方債で、現在宮城県、仙台市のほか大阪府・横浜市・名古屋市などを含む27地方公共団体が共同で発行しています。当行は、銀行19行・証券会社23社で構成される引受機関に入っています。

また、平成16年度に発行を開始した宮城県ミニ市場公募地方債(愛称「第1回みやぎケヤキ債」)および仙台市公募公債(5年)を当行が中心となり引受け、完売しております。

《宮城県内地方公共団体発行銀行等引受債の当行引受状況》

(単位:億円)

	銀行等引受債(債券)発行総額	
		うち当行引受額
平成15年度	327	327
平成16年度	277	277

(注) 2期間とも銀行等引受債(債券)は宮城県のみでの発行です。

《共同発行公募地方債の当行引受状況》

(単位:億円)

	共同公募地方債発行総額		
		うち宮城県・仙台市調達分	
			うち当行引受額
平成15年度	8,470	590	99(61)
平成16年度	12,430	820	60(60)

(注) ()内は当行販売額です。

■ PFI事業への取組み

財政負担の軽減と公共サービスの質の向上を図るため、宮城県や県内市町村においてもPFIによる公共事業の検討が増加してきています。

県内では、既に次の4案件が事業者選定済であり、当行はうち2件について落札者グループのメイン行として資金の提供とともにアレンジャー・エージェント業務を行う予定であり、他の2件についても融資金融機関として参加予定です。

- ・ 仙台市／余熱利用施設建設案件
- ・ 古川市／中学校建設案件
- ・ 東北大学／寄宿舍建設案件
- ・ 仙台市／天文台施設建設案件

また、宮城県以外の案件についても、PFI事業に係るノウハウの蓄積と融資推進の観点から、以下の事業へ参加しております。

- ・ 国土交通省、他／合同庁舎建設案件
- ・ いわき市／文化交流施設建設案件

当行は、今後もPFI案件に取り組む宮城県内地方公共団体や参加を希望する地元企業に対して、ノウハウの提供と積極的な支援を行ってまいります。

5. 地域社会への各種支援活動の状況

〔地域環境の保護〕

当行の営業基盤である宮城県は、美しく豊かな自然に恵まれています。こうした恵まれた環境を維持し、さらに豊かなものにするために、私たち地域金融機関にも資源循環型社会への転換に一翼を担い、地域と共生していくことが求められるようになっていきます。

当行は、地域環境を保護するために、さまざまな取り組みを行っています。大量に使用する伝票や封筒、印刷物について再生紙を利用したり、冷暖房の温度調節、処分文書の再生処理（平成16年度は182トン）など日常的な環境負荷の逡減にも留意しています。

また、投資信託販売商品への環境ファンド組入れなど環境に配慮した金融商品も提供しています。さらに、「小さな親切」運動を通じて地域内の清掃活動にも力を入れています。



〔社会福祉への貢献〕

■ 「小さな親切」運動

当行は、「小さな親切」運動宮城県本部の設立以来、29年にわたりその活動の事務局を務めており、企画・運営に携わっています。主な活動は以下のとおりです。

◆ 「クリーンキャンペーン」への参加

平成16年8月、当行から約50名（会員企業合計約200名）が参加して仙台市内中心部を3コースに分かれて清掃し、社会的モラルの向上をPRしました。

◆ 車椅子の寄贈

平成16年11月、運動本部（東京）から車椅子の寄贈を受け、特別養護老人ホームほか3団体に計8台を寄贈しました。当行は、事務局として、寄贈先の選定や贈呈式の運営を行いました。

◆ 福祉施設等の慰問

平成16年11月、老人保健施設を訪問し、唄や踊り、津軽三味線といった演芸を披露するなど、施設の約60名の方々とともに和やかなひとときを過ごしました。



■ 愛の募金会

「七十七愛の募金会」は、当行がこれまで地域社会から受けてきたご支援への感謝を表すために、平成6年に、社会福祉事業・施設等への寄付を目的として当行役員により設立されました。

平成16年度は、社会福祉施設8先とボランティア団体17先に総額349万円の寄付を行いました。

**■ 七十七交通安全協力会**

当行は、交通安全運動の推進とその支援・協力を行う「七十七交通安全協力会」を組織しています。

同協力会では、交通安全意識高揚の一助となるよう、昭和44年から毎年、宮城県内の新入学児童全員に「交通安全下敷」を寄贈しており、平成17年度新入学児童向けとして、3月に宮城県内全小学校に約2万2千枚を贈呈しました。

**■ 社会福祉団体への加入等**

当行は、各種社会福祉活動団体・防犯団体に加入しており、社会福祉活動等の企画・運営に携わっています。

〔地域との交流〕**■ お祭りへの参加、協賛**

宮城県では、仙台七夕まつりや青葉まつり、県内各地の港まつりなど、さまざまなお祭りが開催されています。平成16年度は、当行では青葉まつりなど6つのお祭りに約400名の役職員が参加しました。さらに各営業店では営業地域内のお祭りへの参加や七夕飾りの出展、所属商工会を通じたお祭りへの参画など地域の皆さまとの交流を図っています。

また、当行は仙台七夕まつり、青葉まつりなどに協賛しています。

**■ 七十七銀行金融資料館**

七十七銀行金融資料館は、当行の創業120周年を記念して、地域の皆さまの長年にわたるご愛顧に感謝し、開設したもので、お金の歴史と役割、銀行の誕生と発展、宮城県や日本の産業経済についてわかりやすく紹介している資料館です。銀行営業時間中は、常時開館しています。

■ ロビー展の開催

当行では、地域との交流をはかるため、営業店のロビーを開放してお客さまの写真展や絵画展を開催したり、地域のさまざまな活動を紹介しています。平成16年度はのべ8カ店でロビー展を開催しました。

■ ゲートボール大会の開催

地域のシルバー層との交流をはかるため、営業店単位でゲートボール大会を企画、開催しています。平成16年度はのべ18カ店で開催し、約1,700人の皆さまに参加していただきました。

〔学術振興への支援〕**■ 大学の記念事業への協賛**

平成16年7月、東北大学が創立百周年を迎えるにあたって行う「創立100周年記念事業」に協賛金を寄贈しました。協賛金は、記念事業の最大の眼目である「東北大学基金の創設」のほか「記念構造物の建設」等を通じて、宮城県の歴史ある東北大学の運営基盤の強化・研究プロジェクトの支援・特色ある教育事業の後援等を目的とするものです。このように当行は、地域内の学術・教育振興に貢献しています。



【文化活動の後援】

■ スターライトシンフォニーの開催

仙台の冬の風物詩として定着した“SENDAI 光のページェント”の参加企画として、平成3年より、「七十七スターライトシンフォニー」を開催しています。毎回、オーケストラの演奏をバックに著名なアーティストが出演しており、平成16年12月には「庄野真代&麻倉未稀 ファンタジックナイト with 東京ユニバーサル・フィルハーモニー室内管弦楽団」と題し、皆さまにお楽しみいただきました。

当日は一般応募者のなかから、抽選で1,600名の地域の皆さまをご招待しており、数十名の交通遺児の方々も別途お招きしています。また、広く社会福祉に役立てていただけるよう会場ロビーにおいてチャリティー募金を実施しました。



■ ふれあいコンサートの開催

「七十七ふれあいコンサート」は、地域の小・中学生の皆さまに仙台フィルハーモニーの迫力あるオーケストラ生演奏に接する機会を提供することを目的に、平成4年度から継続して開催しているコンサートです。

平成16年度は、8月に通算36回目のコンサートを福島県原町市で開催し、小・中学生を中心に約1,100名をご招待しました。



■ 公演、展覧会等への協賛

当行では、地域における演劇、コンサートなどの公演や絵画などの展覧会に協賛金を提供し、地域の文化振興に貢献しています。

〔スポーツの振興〕

■ 地域スポーツへの協賛

◆ 地元プロスポーツチームを通じたスポーツ振興

当行は、サッカーJリーグ／ベガルタ仙台およびプロ野球パシフィックリーグ／東北楽天ゴールデンイーグルスのオフィシャルスポンサーとして両チームの活動を応援し、地域のスポーツ振興に貢献しています。

◆ 仙台ハーフマラソン、市民マラソン in 仙台への協賛

仙台市では、オープン参加形式のマラソン大会として、平成2年から開始した「仙台ハーフマラソン」、昭和55年から開始した「市民マラソン in 仙台」が開催されます。当行は両大会に協賛し、スタッフジャケットやグランドコート、ゼッケンの提供、交通規制看板の設置などを行っています。

■ 企業スポーツとしての大会参加

当行では、役職員が運動部・同好会を組織し各種大会に参加するなど、地域のスポーツ振興に貢献しています。平成16年度の主なスポーツ活動は以下のとおりです。

◆ 硬式野球部（部員数28名）

- ・ 第75回都市対抗野球大会（東京ドーム）
……第3位（黄獅子旗）、「小野賞」受賞
- ・ 社会人野球日本選手権大会出場 ほか



◆ 陸上競技部（部員数8名）

- ・ 第88回日本陸上競技選手権大会
……女子走り幅跳び 第3位
- ・ 第52回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会
……女子400mリレー 優勝、女子総合 第2位
- ・ 第59回国民体育大会……成年女子三段跳び 優勝 ほか

◆ バドミントン部（部員数7名）

- ・ YONEX OPEN JAPAN 2004……女子ダブルス ベスト8
- ・ 第47回全日本社会人選手権大会……女子ダブルス 第3位
- ・ 第59回国民体育大会……成年女子 準優勝 ほか

■ 小中学生、高校生に対する技術指導等

硬式野球部が、小学生80人を対象に少年野球教室を開催しました。また、山形県高等学校野球連盟の依頼により、高校生40名に対し技術指導を実施しました。

陸上競技部が、仙台市内の中学生・高校生に対し職場体験学習を実施しました。また、日々の活動において、地域子女に対する実技指導や、学生との合同練習を随時実施しております。

バドミントン部全部員が、仙台市宮城野区体育協会主催のジュニア育成講習会に指導者として参加し、小学生約40名に対し技術等を指導しました。また、毎週火曜日と木曜日には、仙台市内の体育館でジュニア指導を実施しています。